

1 年生～3 年生の
学生・保護者各位

国際協働研究センター

ニュージーランド提携校(オタゴポリテクニク)短期留学に関する説明資料

各方面で国際化が求められていますが、本校の教育方針の3つめに「国際性を育てる教育」があり、「国際・情報都市神戸にふさわしい高専として、世界的視野を持った、国際社会で活躍できる優秀な技術者を育てます。」とあります。

本校では、この方針を達成するために、授業を中心に多角的に取り組んでいますが、その一環として、海外の提携校とオリジナルなプログラムを組み、平成 27 年 3 月に第 1 回短期留学を実施し、平成 29 年 3 月に、大阪府立高専と共催で、第 2 回短期留学を実施しました。この度、第 3 回を同じく大阪府立高専と共催で実施致します。民間旅行社のプログラムとは異なる、本校と提携校が協働開発したオリジナルの密度の濃い海外短期留学に行ってみませんか。



1. 名称：平成 29 年度オタゴポリテクニク短期留学
2. 時期：平成 30 (2018) 年 3 月 7 日 (水) ～3 月 21 日 (水)
3. 募集定員：18 名 (大阪府立高専でも同時に 18 名を募集し、計 36 名を派遣予定)
募集対象：3 年生以下の学生 (応募が定員に満たない場合は実施の可否を検討。本校・大阪府立高専から教員各 1 名が引率。)
4. 選抜方法：応募が 18 名を超えた場合、志望動機などの課題作文等により上位 20 名を選抜する。
5. 主な内容：English+Engineering Programme (以下の詳細は現時点での計画で、変更の可能性がある。同様に項目 6. 以降も全て変更の可能性があることを予めご了承ください。)

授業：

- ① 機電コース(18 名)：英語コミュニケーション、技術英語、機械工学・電気工学の専門科目(実習、プロジェクトを含む)
 - ② 一般コース(18 名)：英語コミュニケーション、技術英語、工学の専門科目(実習、プロジェクトを含む)
- 英語コミュニケーションは 3 グループ (12 人×3)

現地学生との交流：オタゴ・ポリテクニクの学生の前で日本に関するプレゼンテーションを行った後、意見交換を行う等の交流を行う（予定）。

宿泊：ホームステイ（逆に、オタゴの学生を日本家庭へ受け入れることはありません）

なお、今回から、神戸高専後援会より、5000円／名の活動支援金が支給されます。

6. 費用：約40～45万円（予定）

費用に幅があるのは、サーチャージ（飛行機に乗る際の、燃料費の高騰などによる付加的費用。現在は無し。）、為替レート等により変動する可能性がある（参加者が40名を下回ったときの按分増などの可能性もあります）。他にパスポート取得費（所持していない場合）、小遣い、昼食代（2食分）、オークランド市内での移動・観光費用、国内での交通費等が必要。

7. 今後の主な日程

10月2日（月）17:00	短期留学参加 申込締め切り
10月18日（水）	選考結果発表
10月20日（金）16:40	参加者説明会 以降の研修等について説明

補足資料

オタゴポリテクニク短期留学の狙い

- ① 2013年秋に提携関係を結んだオタゴ・ポリテクニク(Otago Polytechnic)で工学の授業を英語で受けることにより、日常の英語に加え、専門科目に必要な英語の運用力を向上させる。（参加者が36名の場合、機械工学・電子工学の専門科目を取り入れた機電系コースを設けてさらに充実させる予定。）
- ② ニュージーランドと日本の「もの作り」（工業及び工学）及び「もの作り」に関する教育の共通点や相違点等についてニュージーランドの学生とディスカッションを行い、各々の良い点や改善すべき点を洗い出す。
- ③ 現地の同世代の学生と交流し、異文化理解を深める。日本や地元の兵庫県、伝統文化や現代文化に関して英語でプレゼンを行う。これらを通じて、異文化とともに自国文化に対する理解を深める。
- ④ 海外でのホームステイや学校生活、地域の人々との交流を通じて、積極的にコミュニケーションする力、主体的に行動する力を養成する。
- ⑤ 英語圏の国で生活し、英語で学ぶ機会を経験することにより、帰国後の英語学習への動機づけとし、将来「英語を道具として」外国でも活躍できる人材を養成する。
- ⑥ 上記目的を通して、他者を尊重し協調しながらも主張すべきことをしっかり伝えられる、将来国内外で活躍できる人物、特に「もの作り」のエンジニア・開発者の育成を行う。

派遣前の学習（予定）

- ① 全体説明（10月）
 - ・派遣プログラムの概要、派遣前の学習計画、英語の学習についての説明。
- ② (1)派遣団全体の目標、個人の課題設定（11月頃）
 - 「個人の課題設定」に関して、ペアディスカッションとグループディスカッションを行い、各自が文章化する。
 - ⇒ 各個人の課題設定をもとに、「派遣団全体の目標」を決定する。
- (2)派遣先国研究準備・現地でのプレゼンテーションの準備
 - ・地理、歴史、文化、現代社会、教育、産業(工業、工学を含む)を調べる準備について。
 - ・現地でプレゼンテーションをする準備について。

- ③ 専門関連科目の英語での学習（12月頃）
 - ・本校外国人教員から指導を受ける。
- ④ 派遣の心構え・諸注意（12月頃）
 - ・本校教員及び旅行者による生活面・心構え等に関する事前指導。
- ⑤ 英語でのプレゼンテーション、ディスカッションの準備（1月頃）
 - (1)神戸・日本及びその文化について英語でのプレゼンテーション発表会
 - (2)本校外国人教員から指導を受け、「もの作り」（工業・工学）及びその教育に関して英語でディスカッションをする準備を行う。
- ⑥ 派遣の心構え・諸注意（2月頃）
 - ・本校教員及び旅行者担当者による注意・心構え等に関する事前指導。

現地での語学力向上への取り組み

- ① 英語コミュニケーションの授業を、授業日の毎日午前中 3 時間受ける(休憩を含む)。英語コミュニケーション能力の向上を図る。その中に、午後の工学系科目に関連する工業技術英語の学習も行う。
- ② 工学系専門科目及び専門関連科目を、授業日の毎日午後3時間英語で学ぶ(休憩を含む)。理論だけでなく、実習、プロジェクト学習を多く取り入れた授業を受ける。
 - (一般工学系コースの過去の例)ブリッジ・コンテスト
 - (前半)提携校の先生が橋の設計の力学的理論を説明⇒各学生が設計、バルサ材で橋を製作
 - (後半)各学生が製作したバルサ材の橋を見せながら、工夫した点等を力学的観点からプレゼンテーション⇒全学生の橋に同時に重りを段階的に損壊するまで増やしていくコンテスト
 - ⇒優勝者の設計を力学的に再分析
 - (機電系コースの例)虫型ロボットの設計
 - (前半)提携校の先生が、虫型ロボットの設計について講義⇒各学生が CAD(コンピュータ支援設計)を利用して虫型ロボットを設計
 - (後半)各学生が虫型ロボットの製作⇒各学生が、虫型ロボットを作動させて、提携校の先生から一人ひとり講評を受ける。
- ③ ホームステイ(一軒のホストファミリーに日本人の学生は、一人で滞在する予定)、学校生活、地域の人々との交流
 - 積極的にコミュニケーションする力、主体的に行動する力を養成する。双方向の交流を行う。

現地学生との交流(予定)

- ① 神戸市・兵庫県、日本及びその文化について英語でプレゼンテーションを提携校の学生の前で行い、質疑応答をする。
- ② 提携校の学生と一緒に昼食を食べながら、フリーディスカッションを行う（現段階で、交渉中）。

現地での支援体制

引率教員は、派遣生がプログラム全体を通じて、適宜必要なサポートを行い、現地校、ホスト・ファミリー、旅行者等の各機関との連携・調整を行う。

- ① 授業等で、サポートの必要な学生を適宜サポートをする。
- ② 派遣生の体調・心理面のケアを適宜行い、必要に応じて生活面、学習面のアドバイスを行う。

旅行者：(株)アイエスエイ(関西支社 担当者竹島様)

保険会社：Uni-Care (NZ Student Plan)に全員加入。 www.uni-care.org

→オタゴ・ポリテクニックが手配

その他は希望に応じて、任意で旅行保険に加入。

危機管理

・健康に関する記名アンケート、渡航前の健康診断を実施する。常備薬の準備・早期治療等を確認する。歯科等で治療の必要な学生は事前に治療をしっかりと行い、かかりつけ医に相談する。持病等のために必要な場合は、英文での診断書を事前に準備する。

- ・現地校、旅行者、海外傷害保険会社以外に、日本大使館、医療機関等と連携できるように連絡先等を引率教員だけでなく、派遣される学生にも事前に知らせておく。

帰国後の学習、取り組み

- ① 英語スピーチコンテスト等への参加、本校の国際交流行事等への積極的参加・協力を期待する。
- ② 感想・報告文の作成、派遣プログラム全体に関するアンケートへ回答すること。
- ③ 成果報告会への参加（来年 5 月頃予定）。

派遣スケジュール (行程表) (3月14日(火)以降の現地校での授業内容・時間その他は現時点での予定で、変更の可能性があります、全体が把握しやすいように記載)

	日程: 2017年3月7日(水)～3月21日(水)				
	場所: ニュージーランド (滞在都市 ダニーデン)				
日数	日程	時間	都市名等	交通機関	内容
1	3月7日(水)	19:00	関西国際 空港発		関西国際空港集合
2	3月8日(木)		オークランド着* オークランド発* ダニーデン着*	専用バス	Otago Polytechnic のバスで、学校へ移動* ホストファミリー(HF)と対面⇒HF 宅滞在開始
3	3月9日(金)				8:45am Otago Polytechnic に集合⇒マオリ文化式の歓迎セレモニー⇒オリエンテーション⇒オタゴ市内の案内・観光を英語でガイド
4	3月10日(土)				HF と一緒に過ごす (自由行動)
5	3月11日(日)				
6	3月12日(月)				(12日以降も全て説明会当日時点の予定)
7	3月13日(火)				8:45am キャンパスに集合⇒諸連絡等 9:00-12:00am 英語コミュニケーション(工業英を含む)の少人数授業(12人の少人数クラス)
8	3月14日(水)				1:00-4:00pm 工学専門科目の授業 (機電系、一般工学系の2グループに分かれる。18人ずつの少人数クラス)
9	3月15日(木)				提携校学生の前で日本文化等についてプレゼン⇒質疑応答・ディスカッション
10	3月16日(金)				提携校学生との昼食会(1回) (交渉中)

11	3月17日(土)				HFと一緒に過ごす (自由行動)
12	3月18日(日)				
13	3月19日(月)				8:45am キャンパスに集合⇒諸連絡等 9:00-12:00am 英語コミュニケーション(工業英語を含む)の少人数授業(12人の少人数クラス) 1:00-4:00pm 工学専門科目の授業(機電系・一般工学系の2コース) 夕刻、プログラム修了証授与式及びお別れ会
14	3月20日(火)	午前	ダニーデン発** オークランド着**		Otago Polytechnic のバスで、ダニーデン空港へ移動** オークランド市内(散策等) ホテルに宿泊
15	3月21日(水)	朝	オークランド発** 関西国際空港着		関西国際空港で現地解散

(注) 上記スケジュールは説明会時点での予定で、内容、フライト等の変更の可能性がある。

*3月8日

- ・オークランド空港出発まで旅行会社アイエスエー(日本)がサポート
- ・ダニーデン空港到着時、バスの手配(ダニーデン空港・学校間)：オタゴポリテクニク

**3月20日、21日のスケジュール

- ・ダニーデン空港到着までのバスの手配(学校・ダニーデン空港間)：オタゴポリテクニク
ダニーデン空港出発時のサポート
- ・オークランド空港着から旅行会社アイエスエー(日本)がサポート
オークランド空港到着(お昼頃)
ダウンタウンまでバスで移動後、グループ毎に散策・観光(ランチはグループ毎に)
集合してホテルへ到着(夕刻)
オークランド空港での出発手続き。

派遣経費の見積概算（学生1人当たり）

約40～45万円（予定）

（内訳）

オタゴポリテクニクへの支払い（研修費・施設利用費・ホームステイ費）	\$1,860
（ただし、大阪府立高専と合わせて36人参加の場合。人数が少ない場合、費用が上がる。現段階ではその可能性は低い。）	（158,100円 6/26現在）
旅行者アイエスエーへの支払い	およそ26～28万円
閑空～ダニーデン間往復の航空運賃、オークランド市内のバスチャーター代・ホテル宿泊代、旅行業者取扱事務手数料、空港税、出国手続諸費用等を含む。	

ただし海外傷害保険料（一般的な保険は全員加入する）、旅券（パスポート）取得費用（所持しない場合のみ）、燃料サーチャージ料（現段階では、この費用は要求されていない）は含まない。他に、小遣い代、オークランド市内観光中の昼食代・移動費、自宅と関西空港間の往復交通費等必要。

緊急連絡先等

① 現地での対応

- 現地提携校: Otago Polytechnic
所在地: Forth Street, Private Bag 1910, Dunedin 9054 New Zealand
担当: Nathan Dunbar
電話番号: +64-3-477-3014
- 現地事務所: NZIIU (New Zealand Institute of International Understanding)
8 Manukau Road, Newmarket, Auckland
Phone: 09 520 6980
Fax: 09 520 6981
- 緊急連絡先
Yasuko Nishiyama (NZIIU 代表): 027 355 4906
Yuka Okabe: 027 355 4905
- 言語サポート番号 (First Language Support)
Phone: 09 520 6980
- 在ニュージーランド日本国大使館
所在地: Level 18, The Majestic Centre, 100 Willis Street, Wellington 6011, New Zealand
電話番号: +64-4-473-1540
- 在クライストチャーチ出張駐在官事務所
所在地: 12 Peterborough Street, Christchurch, New Zealand
電話番号: +64-4-473-1540
- 現地病院
Dunedin Hospital
201 Great King Street, Dunedin Otago, New Zealand
Phone: 03 474 0999

③ 本国内での対応

- 神戸市立工業高等専門学校
電話番号: 078-795-3322
- 旅行取扱業者: (株)アイエスエー 関西支社 (担当 竹島様)
所在地: 大阪市北区豊崎 3-20-12
電話番号: 06-6374-0377
Fax 番号: 06-6374-0388

神戸市立工業高等専門学校長 殿

平成 29 年度オタゴポリテクニク短期留学応募申込書

案内の諸条件を確認の上で本年度のオタゴポリテクニク短期留学への応募を希望します。選考に合格した場合、教育委員会及び神戸市立工業高等専門学校の指示に従って派遣学生としての留意事項を遵守するとともに、説明会・研修会・報告会等の諸行事に参加することを了承します。

保護者氏名：

印

以下は応募学生が記載してください。

応募学生	クラス(記号で記入):	出席番号:	氏名:
英語力	英検()級, 工業英検()級, <input type="checkbox"/> TOEIC()点, その他()		
希望コース	一般コースに加えて、機電系コースを設けることができた場合の希望を、次の3つから1つ選んで番号に○をしてください。(ただし希望の通りになるとは限りません。希望人数が多い場合、志望理由で意欲等を見て、また学年を考慮して決定します。) 1. 一般コース、 2. 機電コース、 3. どちらでもよい		
志望理由	<p>NZで紹介したい日本や日本文化の内容、日本の工業やその教育の特徴、ホームステイを通して体験してみたいこと、NZで学んで帰り本校で紹介したい内容について具体的に記述して下さい。</p> <p>必ず学生本人が手書き(黒ペン)で丁寧に記入して下さい。 (コピー等して下書きをしてから、書くことをお奨めします。)</p>		

本紙記載内容は 20 名を越えた際の選考材料と致します。申込書締切は10月2日(月)17:00、担任へ提出(その後、担任経由で国際協働研究センター長の連絡箱まで)